

ミライアル株式会社

**2022年1月期
決算説明資料**

2022年3月8日



1. 2022年1月期決算概要
2. 2023年1月期第1四半期業績予想
3. 成長戦略概要

1. 2022年1月期決算概要

2. 2023年1月期第1四半期業績予想

3. 成長戦略概要

売上高	11,661 百万円	前年同期比 19.8% 増
-----	-------------------	----------------------

営業利益	1,898 百万円	前年同期比 118.5% 増
------	------------------	-----------------------

当期純利益※	1,397 百万円	前年同期比 38.5% 増
--------	------------------	----------------------

設備投資額	699 百万円	前年同期比 1.4% 増
-------	----------------	---------------------

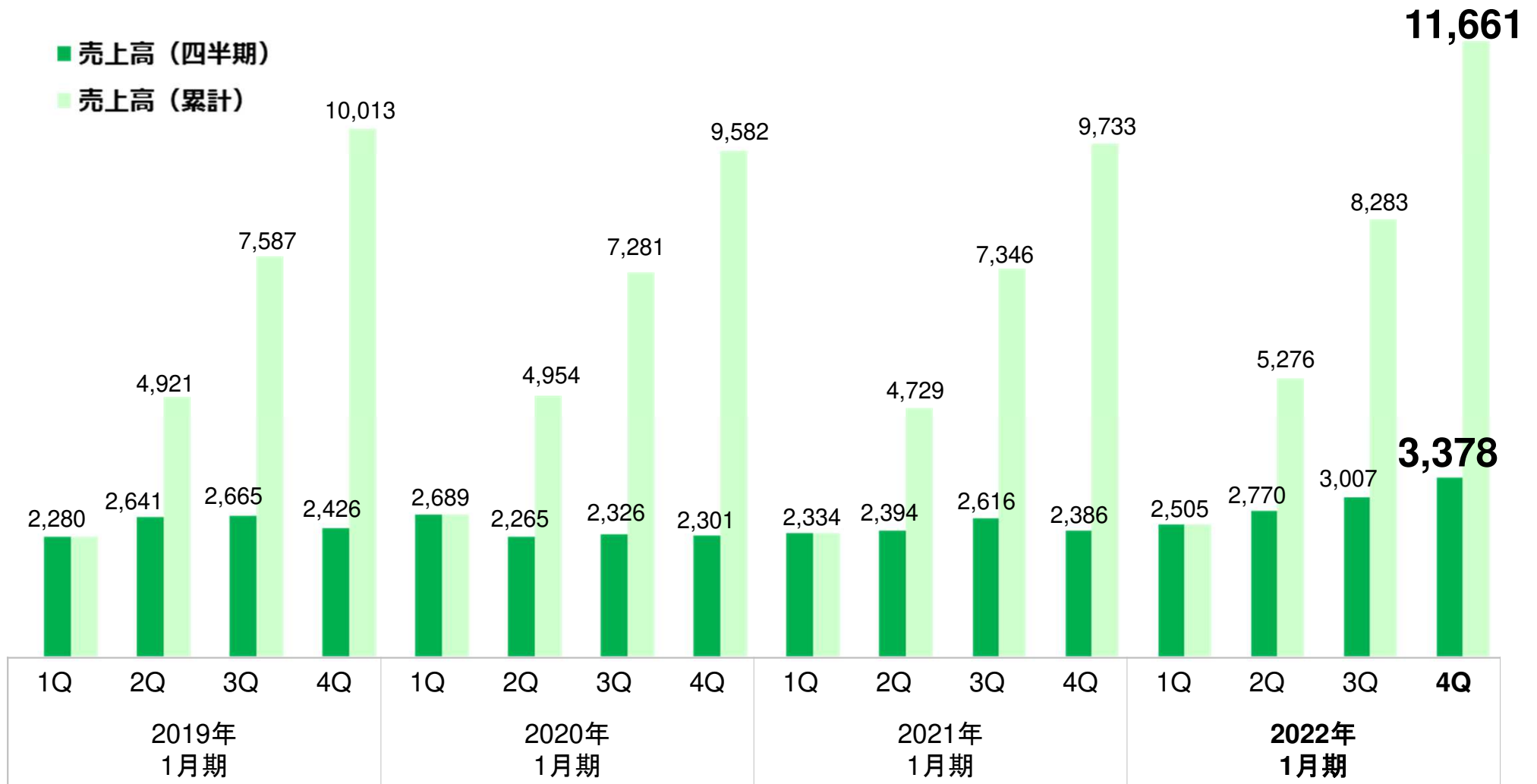
減価償却費	489 百万円	前年同期比 4.5% 増
-------	----------------	---------------------

※当期純利益:親会社株主に帰属する当期純利益を示す

連結売上高推移

Miraial

(単位:百万円)

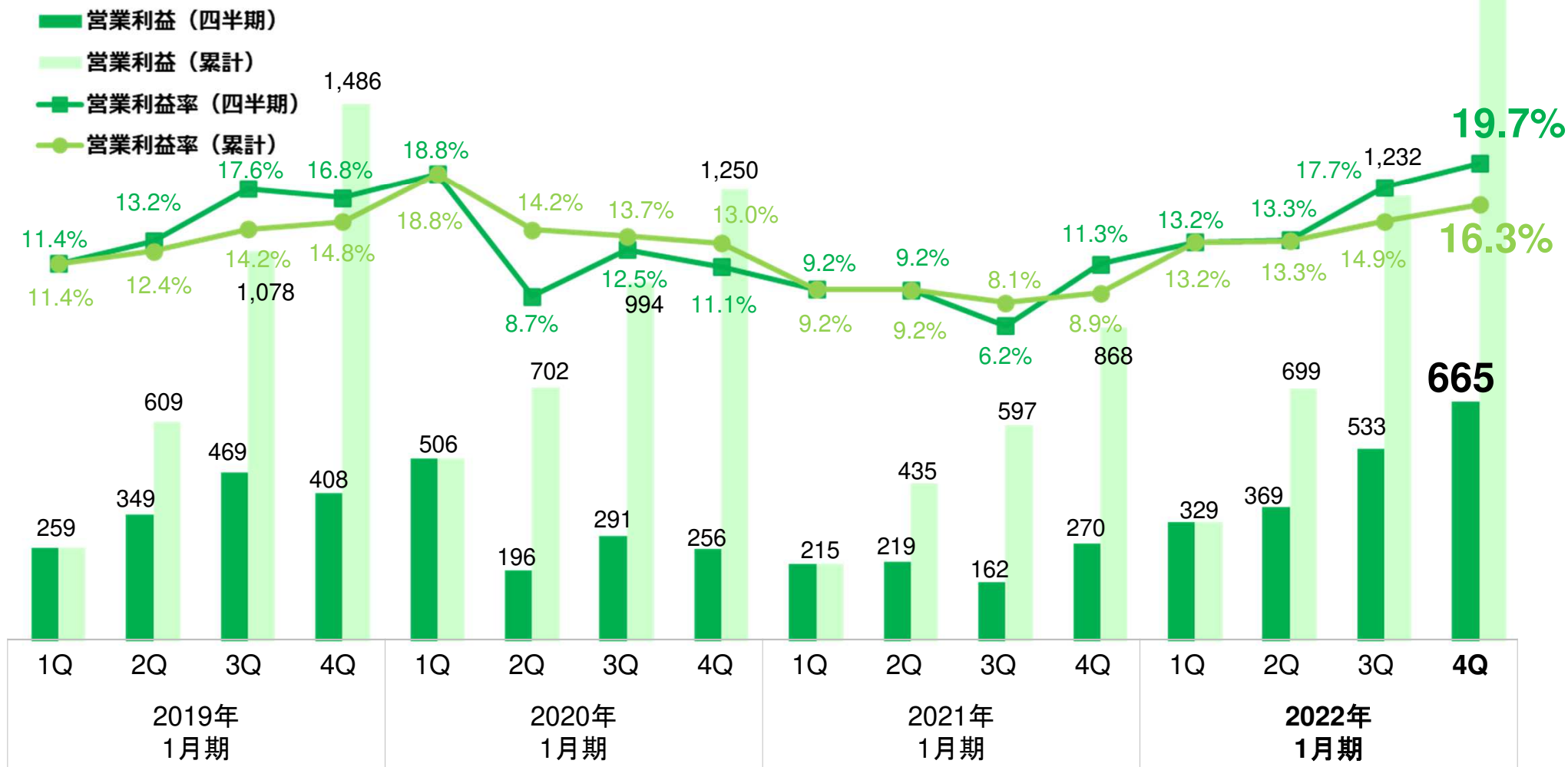


半導体市場は旺盛な需要の影響により堅調に推移、
成形機市場は緩やかな回復基調が継続

連結営業利益推移

Miraial

(単位:百万円)1,898

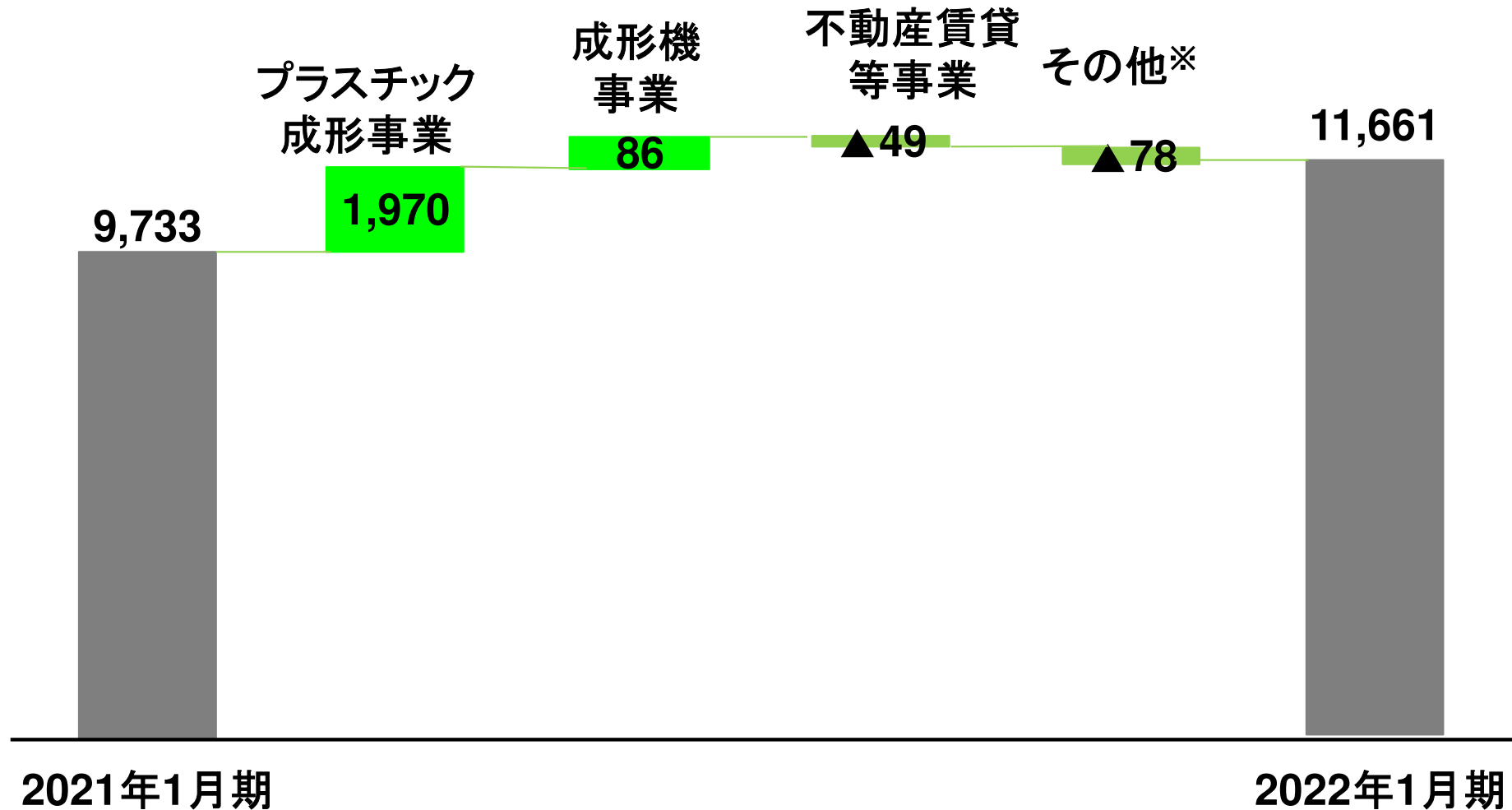


購入部材費・運送費等の上昇があったものの、工場稼働率が高水準を維持、新たな高機能樹脂製品の拡販により利益率向上

売上高 増減要因分析

Miraial

(単位:百万円)

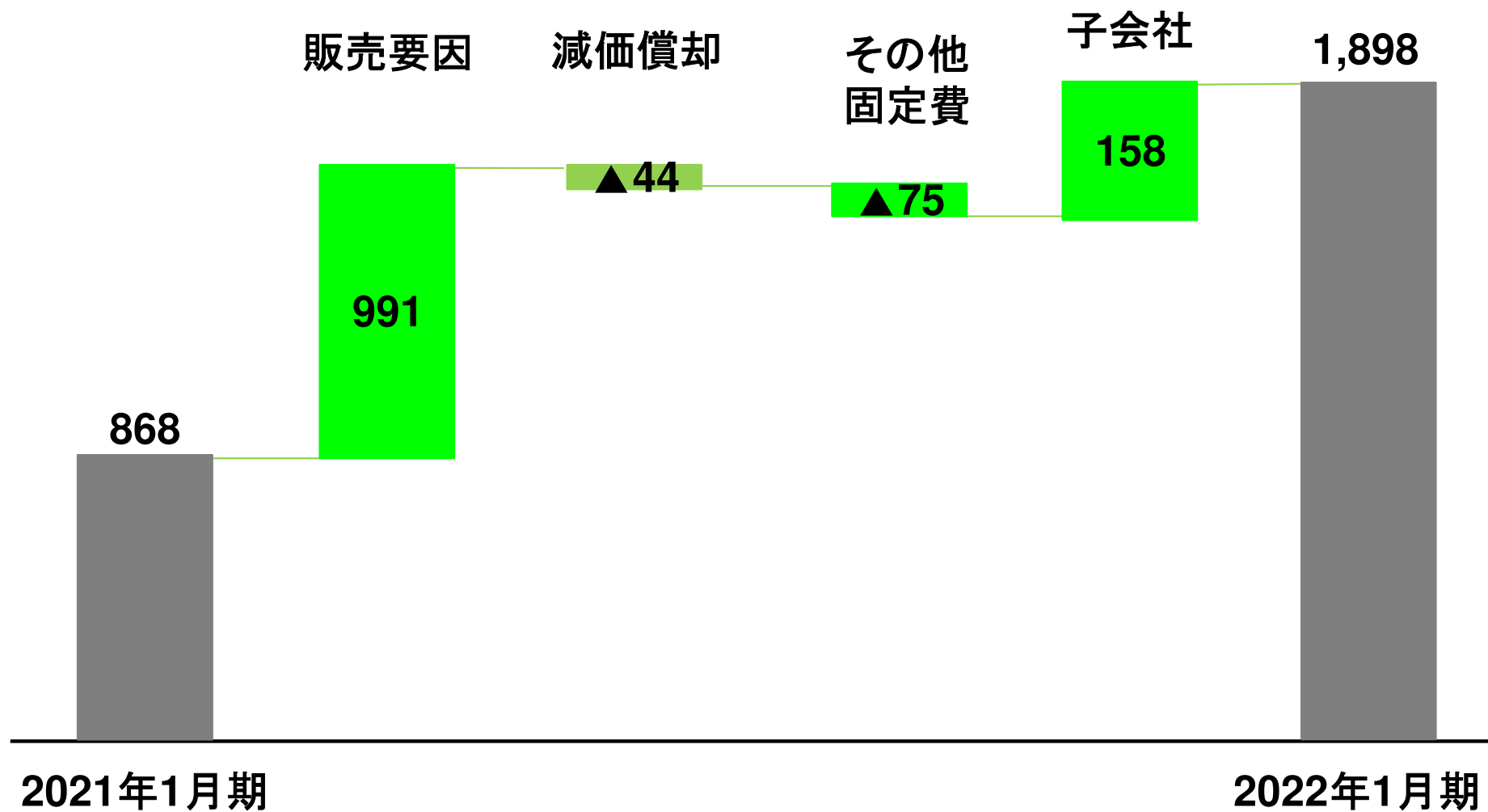


※その他:セグメント間取引消去や報告セグメントに帰属しない費用等

営業利益 増減要因分析

Miraial

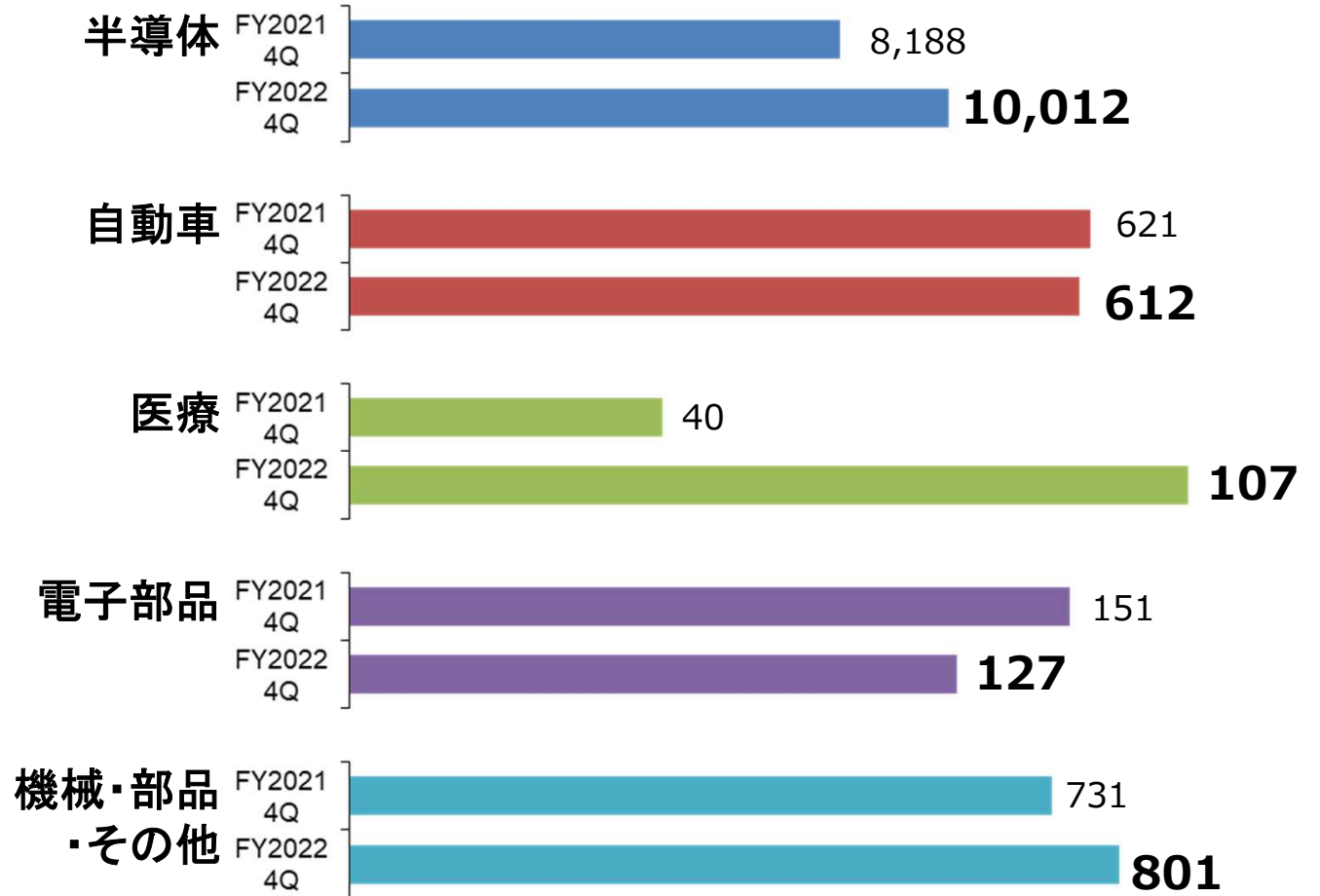
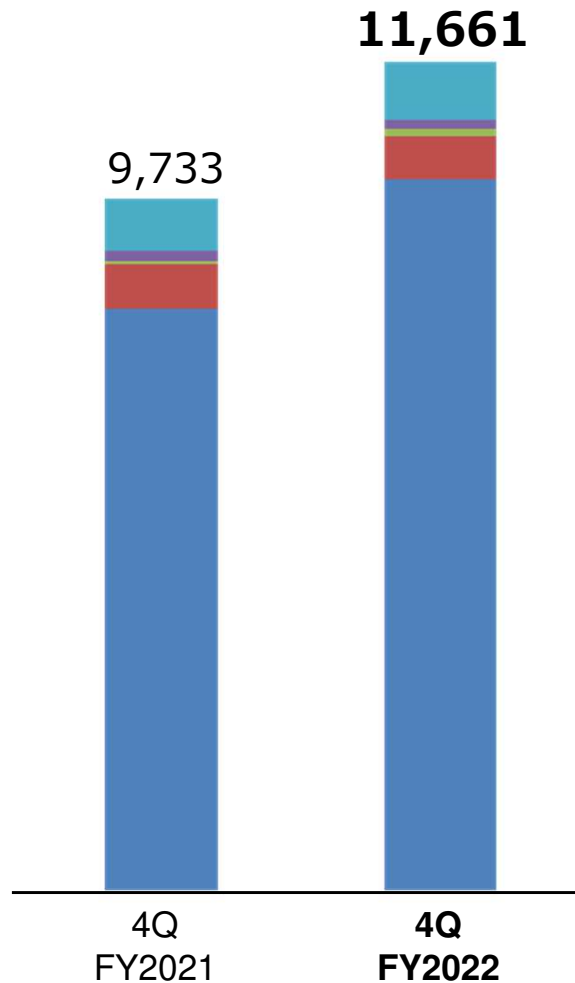
(単位:百万円)



市場別 売上高内訳

(単位:百万円)

- 半導体
- 自動車
- 医療
- 電子機器
- 機械・部品・その他



連結損益計算書

Miraial

単位:百万円	2022年 1月期	2021年 1月期	増減率
売上高	11,661	9,733	19.8%
売上総利益	3,554	2,485	43.0%
販売管理費	1,655	1,616	2.4%
営業利益	1,898	868	118.5%
営業利益率	16.3%	8.9%	7.4 pts
経常利益	1,968	954	106.3%
特別利益	38	722	▲94.7%
特別損失	-	87	-
当期純利益※	1,397	1,009	38.5%

※当期純利益:親会社株主に帰属する当期純利益を示す

連結貸借対照表

単位：百万円	2022年 1月期	2021年 1月	増減
流動資産	17,352	15,647	1,705
固定資産	7,136	7,024	112
総資産	24,489	22,671	1,818
流動負債	3,667	2,836	831
固定負債	791	809	▲18
純資産	20,030	19,025	1,005
(内)利益剰余金	19,230	18,192	1,037
自己資本比率	81.8%	83.9%	▲2.1 pts

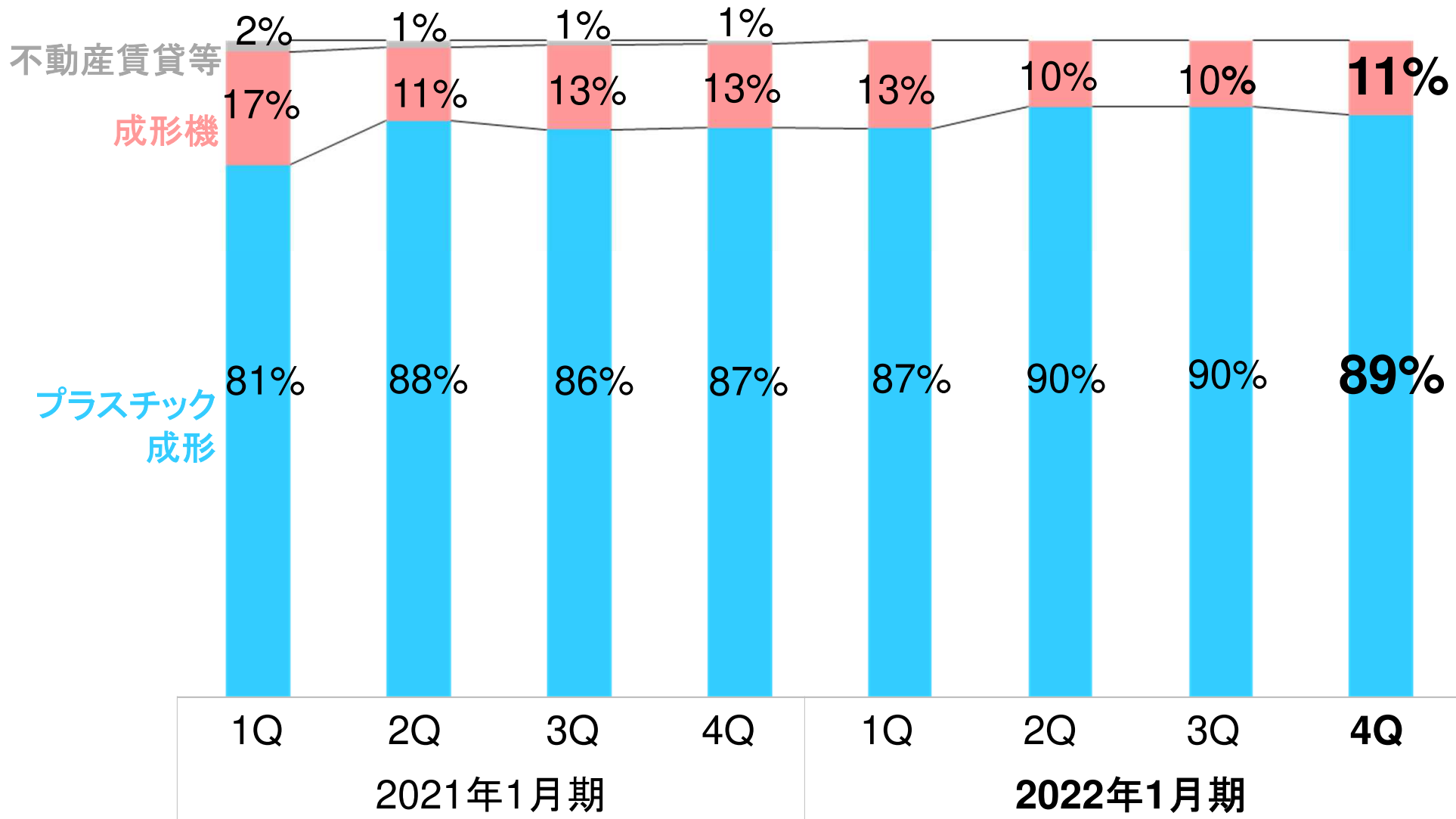
連結キャッシュ・フロー計算書

Miraial

単位:百万円	2022年 1月期	2021年 1月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,078	1,334
（内）減価償却前税引前損益	2,495	2,057
（内）固定資産売却益	▲38	▲722
（内）法人税等の支払額	▲663	▲250
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲377	2,940
（内）固定資産の売却による収入	105	3,734
（内）固定資産の取得による支出	▲521	▲836
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲384	▲1,417
（内）長期借入金の返済による支出	-	▲1,125
（内）配当金の支払額	▲360	▲269
現金及び現金同等物の期末残高	12,471	11,151

	売上高	セグメント利益
プラスチック 成形	10,513 百万円 (前年同期比 23.1%増)	2,210 百万円 (前年同期比 79.6%増)
成形機	1,338 百万円 (前年同期比 6.9%増)	218 百万円 (前年同期比198.7%増)

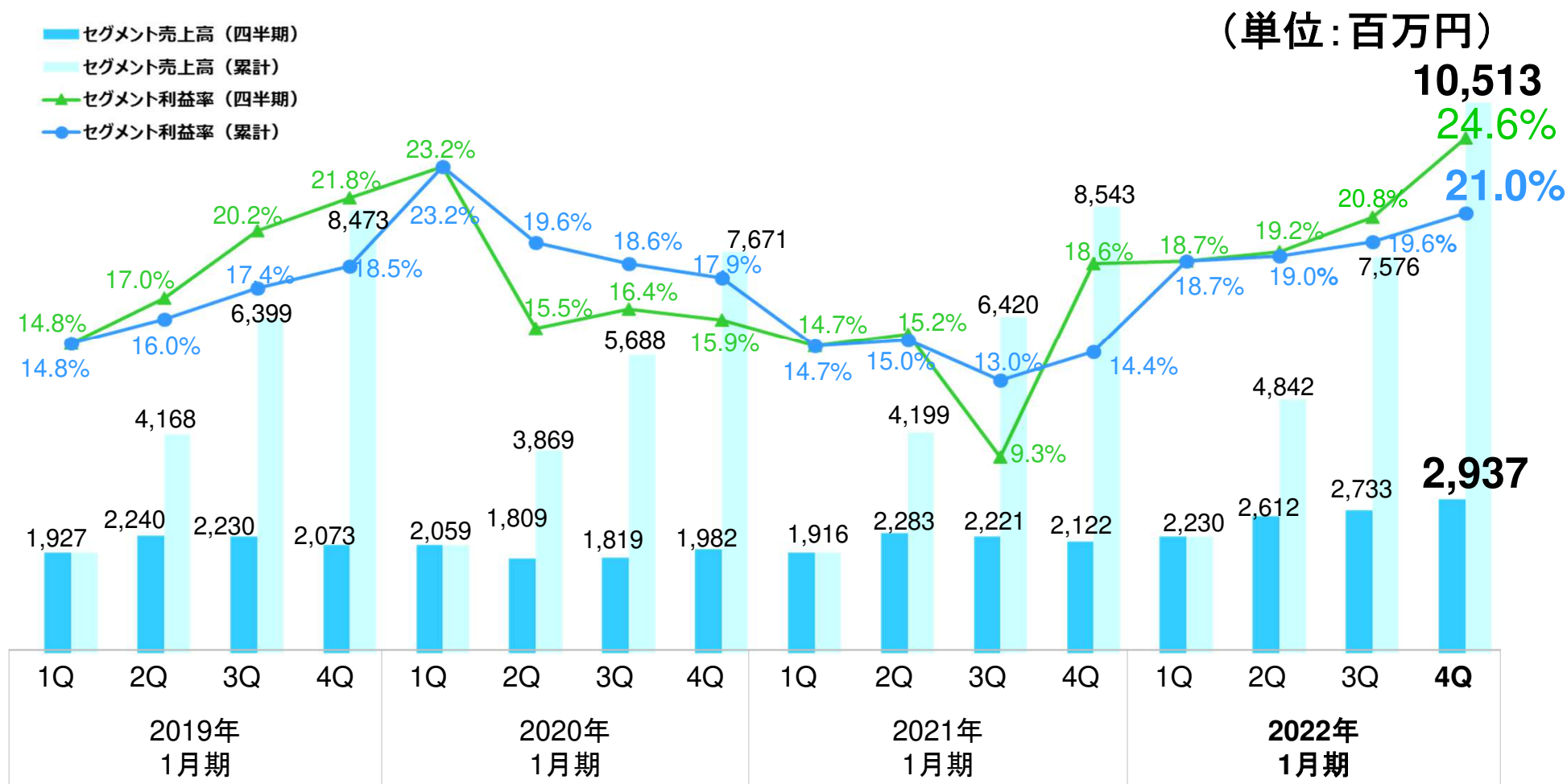
セグメント別売上高構成比



プラスチック成形事業の売上高割合が高水準で推移

- ・プラスチック成形事業、成形機事業共に堅調に推移
- ・不動産賃貸等事業からの撤退

セグメント別業績 -プラスチック成形-



半導体関連製品

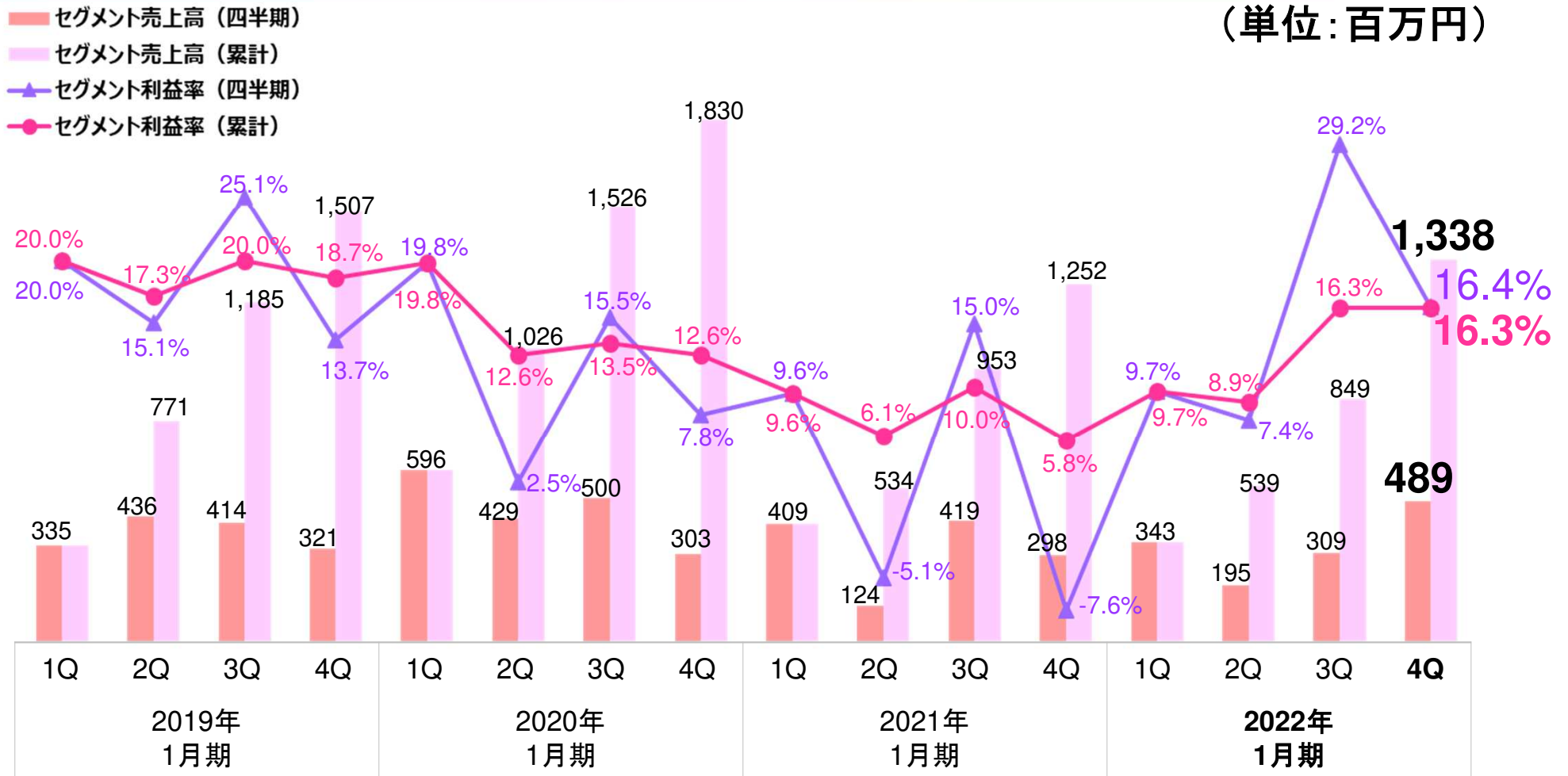
シリコンウェーハ出荷容器・工程内容器に加え、
高機能樹脂製品が堅調に推移し前年比増

その他関連製品

自動車、電子部品関連が底堅く推移

セグメント別業績 -成形機-

(単位:百万円)



設備投資に対して慎重な姿勢が継続したものの
緩やかな回復基調が見られ堅調に推移し前年比増

1. 2022年1月期決算概要
- 2. 2023年1月期第1四半期業績予想**
3. 成長戦略概要

2023年1月期第1四半期業績予想

単位:百万円	2023年1月期			2022年1月期
	1Q (予想)	増減額	増減率	1Q (実績)
売上高	3,550	1,044	41.7%	2,505
プラスチック成形事業	3,250	1,019	45.7%	2,230
成形機事業	350	6	1.9%	343
内部売上高等調整	▲50	18	26.8%	▲68
営業利益	710	380	115.4%	329
経常利益	725	380	110.4%	344
当期純利益※	485	246	103.3%	238

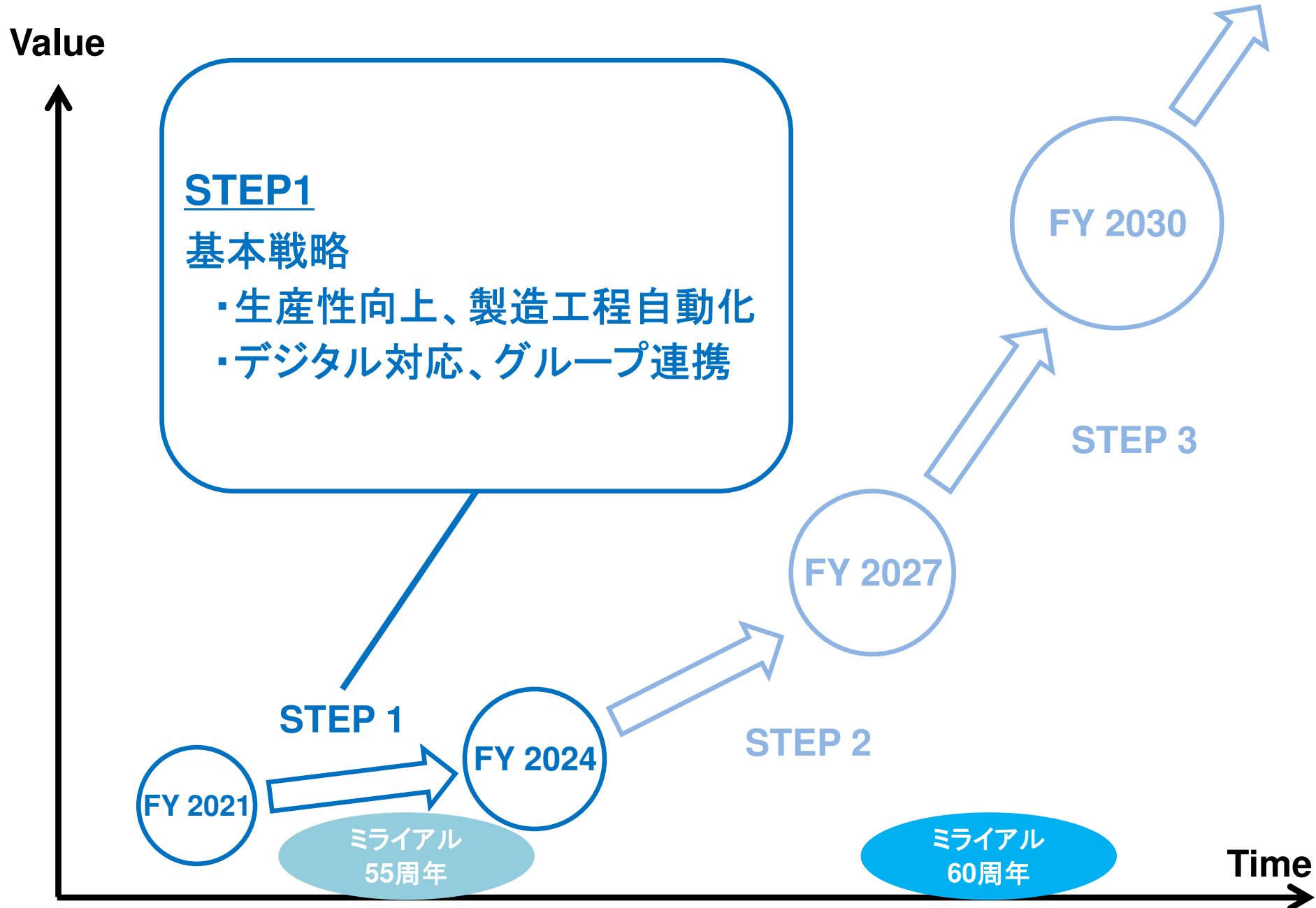
[配当予想]

	2023年1月期	2022年1月期
配当金	未定	中間:20円/株(実績) 期末:25円/株(予定)

※当期純利益:親会社株主に帰属する四半期純利益を示す

1. 2021年1月期決算概要
2. 2022年1月期第1四半期業績予想
- 3. 成長戦略概要**

本成長戦略の位置付け



※FY 2021は2021年1月期を意味する。

Copyright: 2022 © Miraial Co., Ltd. All Rights Reserved.

本成長戦略の骨子:『変える』を楽しもう

半導体需要の拡大により目標修正

KPI
FY 2024
連結目標修正

営業利益率

15.0%



16.0%

売上高

130億円



165億円

「独自製品」の創造
事業の持続的成長

基本戦略

生産性向上
製造工程自動化

デジタル化推進
グループ連携

プラスチック成形事業

半導体
関連製品

FOSB
FOUP
カセット等

- ・中国市場開拓による顧客拡大
- ・自動化、工程改善による生産性向上
- ・半導体容器新製品の販売
- ・顧客需要を満たす能力増強

高機能樹脂
その他

- ・新製品開発の加速
- ・新規顧客開拓

その他
関連製品

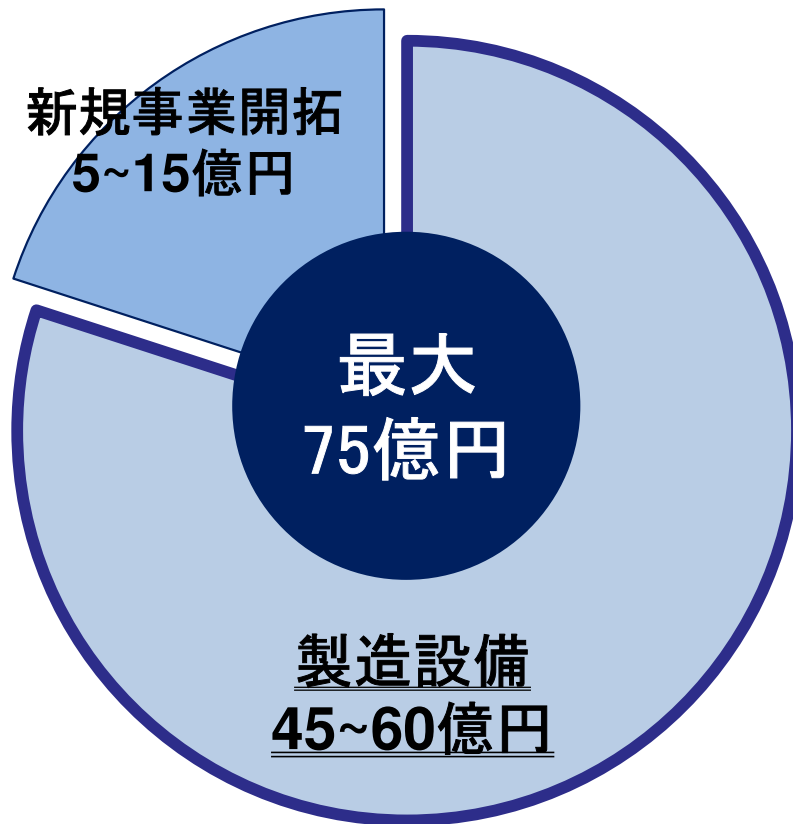
- ・医療、自動車、電子部品分野の開発案件拡大

成形機事業

- ・トランスファ成形機をはじめとした特殊成形機の開発、販売拡大

投資計画

能力増強を中心とした設備投資⇒最大75億円の投資を計画



内容	金額
製造設備 ・半導体容器関連 （自動化、 <u>増産対応</u> ） ・成形機事業 ・デジタル対応 等	20~35億円 ↓ 45~60億円
新規事業開拓 ・研究開発 ・M&A 等	5~15億円

FY2025以降も半導体市況を見極め、
生産性向上、製造工程自動化の設備投資を実施

中長期の重要業績評価指標

中長期的視点に基づいて企業価値向上に努める

中期KPI

FY 2024 連結目標 修正	営業利益率 15.0%	売上高 130億円	ROE 7.0%
	<u>16.0%</u>	<u>165億円</u>	<u>8.5%</u>

長期KPI

FY 2027 連結目標 修正	営業利益率 18.0%	売上高 170億円	ROE 9.0%
	<u>18.0%</u>	<u>200億円</u>	<u>10.0%</u>

資本効率(ROE)の改善を最重要指標と考え、
 本業の売上拡大、生産性向上による達成を目指す。
 ⇒積極投資により高利益体質の構築(中期・3年)
 売上規模を拡大、高ROEを維持する企業体制(長期・6年)

※当社の株主資本コストは8.0%程度と認識

「ミライアルの未来」

明日に向かって

「未来を見つめ」「未来を考え」「未来を創る」

夢と創造に挑戦

IR問い合わせ窓口

ミライアル株式会社 企画部

電話: 03-3986-3782 FAX: 03-3986-3853

E-Mail: investor_relations-m@miraial.co.jp

<将来見通し等に関する注意事項>

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。